年４回（４月、７月、10月、１月の各10日）発行

ひゅーまん ねっとわーく

地域で生きる

2019年 4月 発行／第77号

社会福祉法人　北摂杉の子会

〒569-0071 大阪府高槻市城北町1丁目6-8 奥野ビル3F　TEL 072-662-8133　FAX 072-662-8155　info@suginokokai.com

表出コミュニケーションの研修

左上：児童精神科医の門　眞一郎先生　　右上：支援の様子

平成31年度 社会福祉法人北摂杉の子会

年度方針策定にあたって

社会福祉法人北摂杉の子会
理事長 松上利男（まつがみ としお）

1. はじめに

方針策定にあたって、先ず初めに利用者支援で最重点支援の一つである表出コミュニケーション支援についてお伝えいたします。

1998年2月に私ども社会福祉法人北摂杉の子会が創立して、22年目の新年度を迎えました。

2003年、措置制度から契約制度になり、2006年、障害者自立支援法の施行・障害者権利条約の批准、2012年障害者総合支援法施行へと制度の変遷を経て、障害のある人たちは、行政処分の対象者から契約の当事者、権利の主体者となりました。

私ども法人も設立時から利用者主体の支援、ニーズベースの支援、ニーズに基づく個別支援、社会参加を通した様々な経験への支援、選択・決定できる環境の提供を利用者支援の基本としてサービス提供を行ってきました。

2013年、障害者差別解消法が施行され、その中で障がいのある人たちの「意思決定支援」が掲げられました。

この「意思決定支援」を支える支援として、私は、「社会参加を通した様々な経験への支援」「選択・決定できる環境の提供」「表出コミュニケーションの支援」が重要であると考えています。

そのようなことから、従来からそれぞれの事業所でも取り組まれていた表出コミュニケーション支援について、昨年度から児童精神科医門眞一郎先生の指導を仰ぎ、法人全体で取り組みを始めました。

言語表出によるコミュニケーションが困難な利用者さんを中心にPECS（絵カード交換式コミュニケーションシステム）を活用した支援を行っています。

この支援を通して、生活施設「萩の杜」での20年の暮らしの中で、自身の要求を伝えることが出来なかった一人の利用者さんが、8つの要求を伝えることが出来るようになりました。

自室から、「お茶」「下さい」とのカードをコミュニケーションボードに張り付けて、支援員室まで持ってこられ、支援員からコップに入ったお茶を提供され、美味しそうに飲まれているDVDを見ました。

その瞬間、私は、「申し訳なかった」と心の中で呟きました。20年間、喉が渇いてお茶が欲しい時も自身の要求が伝えられないために私たちは本人に我慢を強いてきたのだとの思いが込み上げてきました。

支援があれば、言語表出が困難な利用者の方々であってもPECSというスキルを駆使して伝えることが出来るという私たち支援者の体験は、意思決定支援に留まらず、様々な利用者支援に活かされることと確信しています。今年度もこの支援を継続いたします。

次に、法人経営・事業所運営の最重要課題の一つである人材（財）の確保についてお伝えいたします。

中小企業基盤整備機構の報告（2017年5月）では、「中小企業の74%が人手不足だと回答し、そのうち約20%は人手不足がかなり深刻」だと回答しています。

特に労働集約型の障害・介護福祉分野においては、この人手不足が福祉事業所の存続に影響する最大のリスク要因として引き続きあります。

聞くところによりますと、高槻市内のグループホームでは人材不足により週7日のサービス提供ができな

いところが出始めているとのことです。

私ども法人も今年4月に開設した「レジデンスなさはら もとまち」でも1棟利用定員7名についてはオープンできましたが、あと1棟のオープンに向けて人材（財）確保に取り組んでいるという状況です。

職員による人材（財）紹介制度も導入して、鋭意努力をしていますが、引き続き人材（財）確保の取り組みに法人組織を揚げて取り組む所存です。

例年年度方針策定にあたって、「社会福祉法人を取り巻く経済・社会・制度的環境」について掲載していましたが、機関紙への掲載は省かせていただきました。「社会福祉法人を取り巻く経済・社会・制度的環境」については法人ホームページをご覧ください。

2. 平成31年度方針策定における基本的視点

(1) 基本的視点1

平成30年度の補正予算を編成しましたが、30年度の決算については、厳しい結果を予測しています。来年度の収支改善に向けての検討と準備を行っていますが、より厳しい予算の進捗管理とともに法人役職員をはじめ職員全体で収支改善策についての共通理解を深め、取り組むことが求められています。引き続き利用者支援の質の向上とコスト削減、収入確保について、検討を進めたいと思います。

(2) 基本的視点2

「人材不足」は法人経営・事業所運営にとって引き続き重大なリスク要因です。平成30年度の職員採用については、採用担当者を中心に若手職員の協力も得ながら法人組織を挙げて取り組みましたが、29年度と比較して内定辞退者の増加がありました。平成31年度も引き続き法人組織を挙げて全力で人材（財）確保に取り組みます。

特に非常勤職員の確保について新しい確保の仕組みやe-learningなどの人材育成等、他法人との差別化による私ども法人にしかない特色についての検討を更に進めたいと思います。

第4次中期計画の目標に掲げられている女性管理職の積極的な登用に向けての育成と女性管理職が働きやすい企業内保育所の設置・運営の検討などの働きやすい環境の整備にも注力しなければなりません。

組織的な定期採用の取り組みが始まって11年になります。現在、勤続11年目、10年目の正職員が25名となっています。5年先、10年先の法人経営を支える貴重な人材（財）であることから、積極的に権限委譲を行い法人経営・事業所運営を支える中核的な管理職としての役割を担えるための育成に取り組みます。

(3) 基本的視点3

第4次5か年中期計画の着実な実行、特にジョブサイトひむろ整備の実現に向けた取り組みの強化と平成31年度実施の新規事業の着実な実施と運営に注力します。特に萩の杜を中心とした「高齢・重度化」の課題解決に向けた長期計画作成取り組み、就労継続支援B型事業の法人としての在り方の検討を進めます。また第4次5か年事業計画の中間年を迎えることから、その見直しを行います。

(4) 基本的視点4

昨年度の年度方針に掲げた私ども法人が大切にしてきた価値（コア・バリュー）である「利用者を中心に据えたニーズベースでの支援」「利用者家族との信頼に基づくパートナーシップの醸成」「職員の利用者ニーズの実現に向けた真摯な働きと法人に対する愛情」「障害のある人たちとその家族のニーズに向き合い、必要とされる支援ニーズ創造の取り組み（公器としての社会福祉法人の社会的責任の追及）」の基本的視点を引き続き意識した法人経営を行います。また第4次中期計画に掲げた事業実現に向けて、ステークホルダーの一つである厚生労働省・大阪府・大阪市・高槻市・枚方市・豊中市などの行政とのコミュニケーションを密にし、積極的な政策提言を行い、協働の取り組みを積み上げます。特に高槻市における障害者福祉施策の推進に向けた様々な課題について、その解決に向けた協働の関係づくりを進めます。

平成31年度　社会福祉法人 北摂杉の子会 年度方針

1. 第４次５か年中期計画の確実な遂行

(1) 以下の今年度新規事業の着実な実施

①レジデンスなさはらもとまちの運営

②豊中市あゆみ学園（個別療育、一時保育）の運営

③杉の子訪問看護ステーションの開設と運営

(2) ジョブサイトひむろの移転整備、十三地区グループホームの整備を進める。

(3) 萩の杜利用者の高齢・重度化に対する長期計画作成の検討を行う。

(4) 就労継続支援事業Ｂ型の工賃向上の取り組みを引き続き行うとともに、事業の在り方の検討を行う。

(5) 中期計画の見直しを行う。

2. 人材（財）確保と育成に組織を挙げて注力する

(1) 非常勤職員確保に注力する。

(2) 女性管理職の積極的な登用と女性管理職が安心して働くことのできる労働環境を整える。

(3) 引き続き人材確保に注力する。

3. 利用者に対する権利擁護と意思決定支援の取り組みを進める

(1) 意思決定支援、表出コミュニケーション支援の実践を積み上げる。

(2) 権利擁護・虐待防止の取り組みを進めるとともにその情報発信を行う。

4. 安定した法人経営のための収益の確保

(1) 収支予算計画作成及び収支予算の進捗管理の精度を高める。

(2) 利用率の維持と向上、業務の効率化と経費削減の取り組みを行う。

(3) 施設整備計画の確実な実施に向けての資金確保と資金計画の進捗管理を確実に進める。

5. 法人の社会的責任

社会の公器としてある社会福祉法人の自覚に基づいて、地域社会における障害のある人たちとその家族のニーズに応え、支援サービスの提供を行うとともに社会貢献活動の推進、法令順守に努め、透明性の高い法人運営を更に進める。

絵カード交換式コミュニケーションシステム（PECS）®

PECS®ってなに?

アンディ・ボンディ（Ph.D.）とロリ・フロスト（MS. CCC-SLP）によって開発されたコミュニケーション支援システムです。

PECSは６つのフェイズ（段階）から成り立っており、対象者が一枚の絵カードを“コミュニケーションパートナー”に渡すところから始まります。絵カードを渡されたコミュニケーションパートナーはすぐにその交換を要求として受け取り、要求を叶えてあげます。次に、絵カードの弁別（認識）を教え、そしてどのように文を構成するのかを教えます。さらに上のフェイズでは、対象者は修飾語を使ったり、質問に答えたり、コメントしたりすることを教わります。PECSの最優先の目標は機能的コミュニケーションを教えることです。

研究の中では、PECSを使っている中で発語が出るようになった生徒もいることがわかっています。音声表出機器（SGD）に移行する方もいらっしゃいます。PECSがエビデンスベースの介入であり、PECSの効果を実証する研究は沢山発表されており、増え続けています。今現在世界中で150以上の研究が発表されており、PECSの効果を裏付けております。

ピラミッド教育コンサルタントオブジャパン株式会社のオフィシャルホームページより抜粋
https://pecs-japan.com/

ひゅうまんリレー

h u m a n - r e l a y

思いの継承

社会福祉法人　新潟太陽福祉会
障害者支援施設　太陽の村　園長　**菊地 康晴**（きくち やすはる）さんより

「重度の知的障害と行動障害のある子供たちが安心して暮らせる場所をつくりたい!!!」

これは、当時の新潟市内で活動されていた「新潟市自閉症親の会」の皆様の思いであります。

この「新潟市自閉症親の会」の皆様の長年の活動が実り、当法人は平成６年に社会福祉法人の認可を経て、現在の「太陽の村」が新潟市北区に開設されました。

あれから20年以上の時が経ちましたが、私たち社会福祉法人新潟太陽福祉会は、保護者の皆様の思いを継承することから始まりました。そして利用者一人ひとりの自己実現をめざし「ひとりひとりが太陽 ～ともに生き　ともに暮らし　ともに輝く～」という理念を掲げています

入所施設開設から始まった社会福祉法人新潟太陽福祉会も、現在では障害者支援施設 太陽の村の他に、通所の生活介護事業所を3事業所、グループホームを５棟、放課後等ディサービス、居宅介護事業所、相談事業を1ヶ所づつ運営し、徐々に規模を拡大してきました。

開設当時の事を振り返ってみると、当時は自閉症支援の知識が薄く、毎日起きる新たな出来事に四苦八苦していたことが思い出されますが、それでも何とかしたいという職員一人ひとりの意識は高く、その思いから全国の先進施設を訪ね、様々な事を学ばせていたことも多くありました。

さて、本誌のタイトルである「地域に生きる」というテーマについて当法人で考えてみた際に、近年行った新たな試みを今回紹介させていただきます。

昨今は、障害者支援施設の持つ機能の重要性と地域への還元が様々なところで注目されていますが、施設は支援やサービスだけでなく、これからを担う人材の育成の場とも考えています。

その観点から当法人は近隣の医療福祉系大学と連携し、独自のインターシップ制度を設けました。

いままでの実習生とは比較にならない多くの学生数の受け入れは、当初不安も多くありましたが、現在は様々な化学反応を起こしてくれており、外部の人が入る事の効果を実感いたしました。これからが楽しみな分野であるとも考えています。

また、平成30年から、新潟市地域生活支援拠点事業の整備に伴う、「新潟市障がい者夜間・休日相談支援事業」の委託を新潟市から当法人が受け、相談事業を新たに実施いたしました。

これは、新潟市内全域の地域で暮らす障害者の方を対象とし、夜間等における緊急時の相談窓口として業務を担っています。

緊急時の相談支援は、自宅への職員の派遣や短期入所の緊急受け入れ等の実働を伴います。そのため本事業は、相談事業を障害者支援施設内に併設し、短期入所事業と合わせて運営することで様々なニーズに対応できるよう努めています。

本事業は新潟市全域の地域で生活する利用者を対象としているので、当法人だけでは全てをまかなえることは困難です。そのため新潟市内の障害者支援施設・単独短期事業所の計６事業所が協定を結び、新潟市内において「面的整備」を行うことで、受け入れ数値を増やし、出来るだけ多くのケースを受けるよう努めています。

事業を開始して１年、さまざまなケースと出会い、私たちも多くを経験させていただきました。同時に地域にはまだまだ支援が必要な方が多く存在する。そんなことをあらためて学ばせていただいたようにも考えます。

インターシップ制度も拠点事業も障害者支援施設のある種の開放と考えます。そしてこれが私たち法人の「地域に生きる」ということだとも考えます。

さて、そんな当法人も25周年を迎えました。

何もわからず「思い」だけで取り組んだ開設当初。先進施設で学んだ時期。日々の反省から障害特性の理解やアセスメントを学び、根拠を伴った支援に取り組んだ時期。さまざまな時期を利用者とともに経験し、その結果、現在の法人があると考えます。

20周年の節目には、日々の支援を再度見直し、そして大切にしていく事を全職員で再確認しました。

これはとても基本的な事だと考えます。しかしながらこの基本を重視し、そこに含まれる保護者や諸先輩職員方の「思い」を若い世代の職員に継承することが、知識やスキル以上に重要であると考えます。

価値観は時代と共に変化します。平成という時代も終わり、目まぐるしく変化していく中で今後どのような価値観が生まれてくるのかはわかりません。

しかしながら、変わらずに…そして大切にしたいその「思い」こそが、ひいては利用者さんの笑顔を守ることに繋がると信じています。

毎年恒例イベント　「魚のつかみ取り」

地域のお祭で司会を務める利用者と職員

強度行動障害者用グループホーム

地域における包括的支援体制の構築をめざして

～地域連携を考えて～

株式会社　フルカウント
代表取締役　池上恭介（いけがみきょうすけ）さんより

北摂杉の子会の方々には、昨年より弊社の出張デパートをお手伝い頂いております。

出張デパートとは買い物に行きたくても行けない高齢者の方用の老人ホーム向けの出張販売サービスです。

私はサラリーマン時代、障がい者の作業所に勤めておりました。

その当時から私は「最低賃金以上のお給料を支払う」を目標にやってきました。

今はそれを達成することが出来ており、嬉しく思っております。

支援体制の構築は「お互いの仕事の相互理解」につきると思います。

軽作業ならとか単純作業ならではなく、出来る仕組みを作ることが企業の、そして地域の使命だと思っています。

お願いしたいけど頼んでいいのか？どんな作業ならやってもらえるのか？単価はいくらなのか？

その情報共有及び情報開示がより必要なのかと思っています。

一度活用すると、その精度の高さにびっくりするのですが、やはり最初に依頼するまで様々なハードルがありました。もっと地域が、企業が積極的に仕事を依頼し経験してもらうことが必要なのではないでしょうか？その積み重ねが地域にも彼らにも蓄積され活かされていくのではないか？と思っております。

助走期間が必要な方が多いのは理解しているのですが、世間や会社は時代の変化についていくのに必死です。その現状を理解しまだまだ出来ることありますし、可能性も無限に広がっていると思います。諦めず日々改善改良することが仕事でありこれからの未来です。

言葉にすると難しいそうですが、相互がその理解を深め実行していくだけで本当は明日にでも変われる事です。

その思いを持ち続け、ゴールはどこなのか？それを見失わないように確認することが大事だと思っています。明日のことも大事ですが…未来を。これからを。地域で見れたらと思います。

「口の健康と機能を維持するための様々な職種の方々との連携」

かしわせ歯科クリニック
主任　歯科衛生士　千田瞳美（せんだひとみ）さんより

はじめまして　かしわせ歯科クリニックです。

当院は知的・精神的・身体的な障がいがあるために歯科治療が難しい方を対象として、障がいを考慮した歯科治療や、口腔ケア、機能訓練などを行っております。

現在、高槻市の精神病院をはじめ、北摂地域、寝屋川市の病院・施設へ訪問歯科診療を行っています。

北摂杉の子会様への訪問は、萩の杜様開設当初から当医院の前身であるオーラルヘルスケアサービスが歯科訪問サポートいたしてまいりました。

かしわせ歯科クリニックは開院して10年になります。患者様との長い関わりの中で、治療時に口を開けていることが難しい、特別のこだわりがあるなど、それぞれの方が有する歯科治療上の困難さや特徴を理解し、安全で確実な歯科医療を提供できるようそれぞれの方にふさわしい方法で対応しております。また、先天的な障がいがある方は口の周囲に触られることに敏感な場合が多く、歯磨きの受け入れが難しいことが多いようです。歯質が弱かったり、歯の数や形が異なったりすることもよくみられます。障がいによる特有の口や歯の症状を知っていただき、健康な口を維持できるよう支援を行っております。

そのためにも、患者様にかかわる様々な職種の方々との連携が大切と考えています。北摂杉の子会様では、スタッフの皆様の口腔への意識も高く様々な勉強会の機会を頂いています。虫歯、歯周病と全身疾患の関連性についてや患者様にあった磨き方、歯ブラシ用品の使い方等お話をさせて頂きました。また、治療が必要な方には安全な治療を受けられる環境を整えて頂き、治療用ベットの作成にも携わっていただきました。自己支援の一貫として患者様にブラッシング指導も行っております。私どもは今後もそれぞれの患者様の口の健康と機能を可能な限り維持することを目的としております。口の機能が低下したりして重度のむし歯や歯周病になってしまうような事態は避けなければなりません。食べる機能の低下にもできるだけ早い時期からの対応が必要です。その実践には患者様を日常的にケアする方の協力が必要不可欠になってきます。

患者様に対する適切な対応や治療方針について介助者と医療スタッフとが一緒に模索することでよりよい歯科医療を目指すことが出来ると考えております。

平成29年度　業務貢献表彰 優秀賞（法人内表彰制度）

「東淀川区4･5歳児就学前子育て支援事業」

自閉症療育センターLink　児童発達支援管理責任者
児童発達支援部　スーパーバイザー・保育士　谷岡（たにおか）　とし子（こ）

1.受諾に至った経緯

児童発達支援部所属の児童デイサービスセンターanは、大阪市の「発達障がい児専門療育機関」として平成25年度から事業を実施しております。また、大阪市淀川区役所からは、子育て支援事業（「親子講座・ピアカウンセリング」）を受諾し実施して参りました。「面接相談」に関しては、anを利用されているご家族や幼稚園や保育所等の見学者の方から、保育所や幼稚園などの所属の場における助言の希望をよく耳にしておりニーズの高さも実感しておりました。法人の理念として「地域に生きる」を掲げており、東淀川区の事業受諾が事業所のサービス拡大だけでなく今後の専門療育としてのサービスや行政との連携につながることの期待もあり、東淀川区保健福祉課「平成29年度東淀川区4・5歳児就学前子育て支援事業」（公募型プロポーザル）の受諾に至りました。尚、本事業については新規事業の委託ということも考慮し、法人本部と併設する「こども発達支援センターwill」（児童発達支援部　所属）の事業として実施しております。

2.委託事業の目的と概要

(1) 事業の目的は、「児童虐待ハイリスク家庭の早期発見・早期支援のため、アウトリーチの手法により4歳児については、保育所・幼稚園等へ出向き、未就園の場合は家庭訪問を行い、また、5歳児については、就学時健康診断の未受診者を家庭訪問することにより、全ての4・5歳児の安否確認を行うものである。加えて、発達状態や養育環境を把握し、養育者の不安や子育て上の困りごとを引き出し、区の担当部署に引き継いで必要な子育て支援につなげることにより、児童虐待の発生を未然に防止すること」（※仕様書より一部を引用）と明記されています。

(2) 事業概要は、上記の (1) 目的を踏まえて下記の通り実施しました。
（但し、仕様書に記載された詳細な文書は紙面の都合上、抜粋あり）

①関係する機関（保育所・幼稚園・認定こども園等）との連絡調整

◎園を訪問するにあたっての事前調整や周知ポスターの掲示依頼や事業内容など、事業を円滑に進めるための必要な連絡調整を適宜実施。周知ポスターも区役所や業者からの助言を参考に事業内容が伝わるようにレイアウトや文言などを工夫しました。

②就園児（4歳児）の実態把握及び子育て相談

◎各保育所等への対象者数分の「子育て質問票等」や関係する書面の作成と郵送準備を行いました。「面接相談」については、対象者と面接日時、場所（就園施設・区役所・自宅）を調整し、

希望された場所や時間にて「面談相談」を実施しました。幼稚園や保育所の部屋を借りての面談も多くありましたが、保護者も慣れている場所でもありリラックスして話をされており、相談担当者も園生活の様子もイメージが持てて助言に役立ったようです。区役所の希望も多く、会議室の調整には区役所側にも色々とお世話をおかけしました。

③４歳児の未就園児対象の家庭訪問

◎区役所からの未就園児名簿に基づき、事業説明文書及び関係書類を郵送。また、訪問時には、困った時の相談先として区役所配布の「相談先一覧表」を手渡しました。就労家庭もあり不在の家庭もありました。が、多くは区外や私立の幼稚園等に所属されており、子どもは園に楽しく通っていますということで安心できました。

④５歳児就学前健診の未受診児に家庭訪問

◎区役所からの名簿に基づき関係書類を郵送。尚、訪問時に不在またはお子さんに会えない方に関しては、再度の連絡調整と家庭訪問を実施し就学に伴う情報をお伝えしました。未健診児のほとんどは私学に通園されており、健診についても就学先や医療機関で実施済みでした。

3. 事業の成果

発達障がいの経験や保育所勤務経験豊かな職員が対応したことで、面接における助言は、保護者や園側に満足される内容でした。また、事業担当者と区役所側との月１回の定例会議開催により事業も円滑に進めることができました。担当者は、改めて家庭支援や地域支援の大切さを知る気づきになり、法人全体においても、東淀川区の連携状況について伝える良い機会となりました。

4. 最後に

面接相談の中には、日々の生活の中で幼稚園や保育園の職員と保護者との話の中で解決できるだろうと思われる事例も多くありました。発達の偏りや発達障がい児の支援については、園側も保護者もともに悩みや不安を抱えておられますがその見解には若干の相違あります。また、発達に偏りがあるまたは発達障がい児等のお子さまへの支援について、集団の中でも個別配慮においても悩んでおられるようでした。これについては、「発達障がい等についての特性理解」や「具体的な支援」について、園側の職員のスキルアップにつながるような機会が必要と感じています。

平成30年も区役所として本事業が継続されることとなりましたが、新たに当法人の強みでもある発達障がいのお子さんや家族への支援をテーマにした「発達講座」「全体講座」「親子講座」が加わっての公募ということで、再び事業を受諾しました。実施した講座等は参加者にも評価いただき担当者としても満足のいく内容でしたが参加者を増やすことが課題として残りました。

本事業が30年度をもって終了ということもあり、この記事記載が事業報告の場にもなって幸いです。本事業を通して、4・5歳児の子どもの家庭背景や置かれている社会環境（一部ではありますが）に関わる事ができたことは職員にとっても多くの学びであり大切な機会となりました。これを今後の療育や家族支援にも活かしていきます。本事業に協力頂いた対象者の保護者やお子様、幼稚園や保育園など関係者の皆さまへは紙面を通してお礼を申し上げます。最後に皆様のご健康と東淀川区役所のより一層の発展を願って報告とさせていただきます。

平成29年度　業務貢献表彰 優秀賞（法人内表彰制度）

地域で活かせる支援を目指して
～重度の知的障がいがある方への意思決定の経験を支援する～

ショートステイセンターぶれす　支援員
社会福祉士　介護福祉士　藤谷沙紀（ふじたにさき）

■ はじめに

ショートステイセンターぶれすは、レスパイト事業として高槻市内のご利用者だけでなく、地域での受け入れが難しいと判断された遠方からのご利用者の受入れなどもあり、利用の登録をされている方は200人ほどいらっしゃいます。

ショートステイのご利用は、ご家族のお仕事やご予定など、ご本人の希望と関係なく利用が必要になってしまう事も少なくないため、ご利用者ご本人が利用の意味づけをする事が難しく、不調になってしまう事もありました。また、ショートステイの特性上、短時間の利用だからと他の事業所では行なえているスケジュールやコミュニケーションカードの使用などの支援から置き去りにされてしまっていたり、他事業所での取り組みなどについての情報の共有が不足していることが多く感じられました。

しかし、イレギュラーでかつ短時間だからこそ、楽しみや目的を持って過ごしていただきたいと考え、ご本人にとってわかりやすい環境を整えてきました。

1.概要

過ごしを見つけてもらえる環境への調整（おもちゃの見える化・普段出ていないおもちゃの取り扱い【写真①】）を行ったことで徐々に「このおもちゃで遊びたいのに他の利用者が使っている」、「今日はこのおもちゃが出ていない」などの要求をご利用者のほうから壁に貼られたカード【写真②】を使用して支援員に訴えてくれるようになりました。

写真①

写真②

また、見通しを持って過ごせるようにスケジュールの使用も進めています。他の事業所でスケジュールを使用されている方は、そこで使用しうまく行っているスケジュールカードの写真や形態を参考にさせていただき作成。他のご利用者にも応用できるよう予備を作成し、過ごしの場のメインとなるホールの目に付くところにおいています【写真③】。

写真③

空間の中に自然と様々な日常動作のスケジュールカードがある事でご利用者が不調になる前に、それぞれのご利用者が気になるポイントを押さえたスケジュールの提示が出来る事が増えました。

2. 個別の支援の具体例

ケース1

障害支援区分6

特性：積極的に要求を伝えられないが、一つのこだわりから抜け出しづらく、やり直しを続けたり座り込むなど活動や気持ちの切り替えが難しい。

課　題	• 先の見通しが持てず、持ってきた持ち物の整理が終われない。 • 支援員について歩き、自身の過ごしが乏しい。 • 騒がしい環境が苦手でトイレにこもってしまう。
取り組み	• スケジュールとあわせて、何泊するかを示したポケットマッチングのシステムを導入。気になる活動は何日後にあるかも提示。【写真④】 写真④ • 宿泊する部屋を固定し、その中にタンスを設置。どこに何を直すかを分かりやすく提示し、過ごしの場所から持ち物を置いておく場所を切り離す。【写真⑤】 写真⑤ • ご本人の過ごしたくなる余暇（DVDをレンタルしに行き視聴して過ごす）、楽しんで参加出来る余暇（行き先を選択し散歩へ行く）の設定。

結果	• したい活動のエコラリアによる支援員へのアピールはあるもののスケジュールを確認し「○○をしてから××」と伝えると切り替えが出来るようになった。 • 排泄以外の目的でトイレへ行かなくなった。 • 騒がしい環境は苦手で店舗で過ごす事自体が難しかったが、落ち着いて商品を選べるようになった。
今後の展望	• こだわりの揺り戻しや上手くいっていたパターンが些細なきっかけで崩れてしまうため、継続したフォローが必要。 • ご本人が楽しんで参加できる余暇の拡充。

ケース２

障害支援区分６

特性：シングルフォーカスでこだわり、衝動性も強く見られる。自らの中に思い込みのスケジュールがあり、真夜中に目覚めても母を起こし朝食を作らせお風呂に入る等、周りを巻き込んでしまう。

課　題	• 特定の支援員しか対応できず、パニックになると激しい自傷がある。 • お茶を飲むこだわりが強く、際限なく飲み続ける。（制止は不可能。見えない所から出てくるため終わりが理解できていなかった） • 思っている活動ができないと窓を突き破るほどの激しい訴えと自傷。
取り組み	• 一緒に活動できる支援員を増やし、こだわりの強かったドライブコースも複数に増やした。 • 自動販売機で支援員に購入させていた状態から、自立して自動販売機でジュースを購入する活動への移行。現在は店舗での買い物活動へ。 • 本人が飲めるお茶の量を提示し、給湯室前からボトルとコップを持って来て自分でそそぎ飲んだ後、ボトルとコップを洗う活動の設定と導入。
取り組み	
結果	• 一時期、どの支援員の促しでも活動が出来るようになっていたが、複数の支援員の中で誰を頼りにして良いかが本人にとって分からない状態になったため再調整し、現在は担当支援員以外が視界に入らないようにしている。 • 店舗での商品の購入は導入してから回数を重ねるごとに介入度が減少してきている。 お茶を飲み終えるまでは自立。ボトルを洗うことについては導入段階。
今後の展望	• 見通しを持ち、できる限り支援者にとらわれずに１人で完結できる活動への環境調整と経験を支援。 • 日中はドライブでしか過ごせないためその他の活動にも取り組めるような支援。

ケース３

障害支援区分６

特性：情緒に波がある。聴覚過敏で見通しの立ちづらさもある。言語での表出は難しく、不調になった場合には衝動的に他害に発展してしまうことがあった。

課　題	• 帰宅時間の見通しが持てず不調になり自傷や他害に発展。

課　題	• 過ごしたい場所が自身にとっては騒がしい等の不快な状態であっても移動することが難しく不調になり、自傷や他害に発展。 • 感覚遊びでの過ごしが中心。 • 夕食は自宅で食べるため、ぶれすでは提供していないが、他の利用者さんが夕食をとっているのがわかるため、不調になり自傷や他害に発展。
取り組み	• 静かに過ごせる環境を必ず一ヶ所確保しておく。 • 過ごせる場所や活動の流れを、写真を使ったスケジュールで提示。 • 本人が好きなDVDを見られる環境を設定。 • 他の利用者が夕食を食べる時間にティータイム（お茶とチョコレート）を設定し、自宅への送迎の出発時間にタイマーをセット。
結果	• 落ち着いて過ごす事が出来るようになり他害も無くなった。 • DVDは自分で選択し、ディスクも自身のタイミングで交換、再生などの操作も自立して行なえるようになった。 • 要求は落ち着いた状態で、支援員にクレーンで伝えられるようになった。 • 笑顔が増えた。
今後の展望	• 上記の活動をスケジュールにし、より見通しが持ちやすいように導入。

3.まとめ

全体の空間が整理されたことによって、個別の問題行動記録表のパニック時の要因が“不明”と記載される事が減少し、具体的な内容の記載や支援員の考察が細かく書かれるようになりました。また、個別の問題行動記録の数自体も減少しました。

その他、支援員にこだわり、マンツーマン対応が必要だった方が少しずつ自身で過ごせる場面が増えてきています。具体的には、必要に応じてクレーンやカードでの要求をしてくれることが増えただけでなく、次の活動までの自由時間があとどれぐらいか知りたい場合や、すぐにできないことが分かっていることについてはスケジュールカードとタイマーを支援員に持ってきてくれることなども増えました。

（↑タイマーを持ち運んだり、置いていく場合に手や物が当たって誤操作してしまい時間が変わってしまう事がないように、タッパー使用し必要なボタン以外の部分を覆えるようにしています）

今まで見通しを持つことが難しかったご利用者にとって自律に繋がることは勿論のこと、支援員がその他のご利用者へもさらに視野を拡げられるようになる事で今まで気付けていなかったそれぞれのご利用者の強みを知るきっかけともなりました。

今後もご家族からのご意見や、客観的な視点を大切にしながら、ご利用者が地域でより豊かに暮らせるよう支援していきます。

杉の子いいね！

レッツ クリエイティブ アート！

当法人のご利用者には、様々な特技をお持ちの方や表現活動（絵画・詞・陶芸等）を行っている方がたくさんおられます。このコーナーでは、そういった活動を紹介しています。たくさんの読者に「いいね!」「共感した!」という想いを届けたいと考えています。

ぷれいすBe

●ペーパークラフト

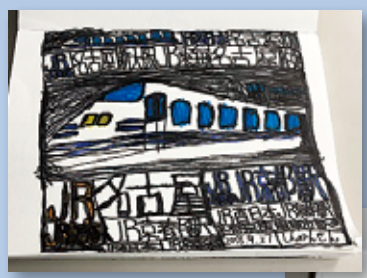
「週１回の余暇活動の時間に１階生活介護のご利用者が作られた作品です。とても細かい作業ですが、毎回コツコツと作品を仕上げられています。カフェのショーケースなどに飾っていますので、お時間がある時には、カフェBeに見に来て下さい!」

●芋ハンコ

「杉の子農園でもらったさつま芋を使って、今年の干支である「猪」の芋ハンコを作りました。目と足は割りばしで掘ってもらいました。見本はあったのですが、各ご利用者の力の入れ具合などで形も変わり、様々な個性のあるハンコに仕上がりました。最後に「いのしし」の文字をかいてもらうことで、とても味わい深い作品になりました。」

ふれっとなさはら

ふれっとなさはらで、周囲に落ちていたどんぐり等を使って、看板を作りました。玄関の入ったところに掲示しています。



ご利用者が、余暇外出や日帰り旅行の時に書いた、絵です。その場で書かれたり、萩の杜に帰ってきてから書かれることもあります。他にもたくさんあります。

ナースとOTがやって来るヤァ!ヤァ!ヤァ!
すぎのこ訪問看護ステーション開設

地域医療支援部
部長・作業療法士　小林哲理（こばやし てつり）

1　発達障がい児者に特化!

平成31年4月1日、高槻市城北町に訪問看護ステーションを開設しました。北摂杉の子会の強みを活かした発達障がい児者に特化した訪問看護ステーションです。

発達障がいに理解のある看護師と作業療法士がご自宅に訪問して、様々な生活の困りごとに対して具体的にどうしたらよいか?を皆様と一緒に考えていきます。

2　『治す医療』から『支える医療』へ

医療の世界では「治す医療」から「支える医療」への転換が求められています。「訪問看護」はその中心的な担い手です。従来の医療は病気を治すことが中心ですが、治らない病気も多くあります。また治っても元気が出ずに、家にこもっている方もおられます。すぎのこ訪問看護ステーションではこころやからだの健康を、地域での生活者の視点でみていきます。地域で活き活きと暮らすことができるように、生活の困りごとに寄り添っていくことを大事にします。生活の困りごとですので、感覚面のこと、運動面のこと、精神面のことなど心身の機能面のことから、トイレや入浴、家事など活動面のこと、学校や仕事や余暇など社会参加面のこと、家族とのこと、一人暮らしのことなど様々な面に対応します。期限はありませんので、身近なことを長い期間ご一緒することができます。

3　子どもから高齢者まで

子どもから高齢者まで、発達障がいがあり、生活に困っている児者、もちろん疾病のある方や退院後のリハビリが必要な方も対象です。精神科訪問看護では、障がいのある方のご家族も対象になります。

主に医療保険を使用したサービスですので、現在、児童発達支援・放課後デイサービス等のサービスを受けている方や、生活介護、就労継続B型事業、就労移行支援事業等のサービスを使用している方も利用できます。事業所ではできるのに、家では難しいことや、逆に、家ではできていることを事業所と情報共有することや、事業所で取り組んでいただくように働きかけることもします。

もちろん、これまで福祉のサービスを利用していなかった方も利用できます。家におられて、どのように過ごしたらよいかわからない方、引きこもりがちな方に対して、余暇の過ごし方や生活についてアドバイスも行います。

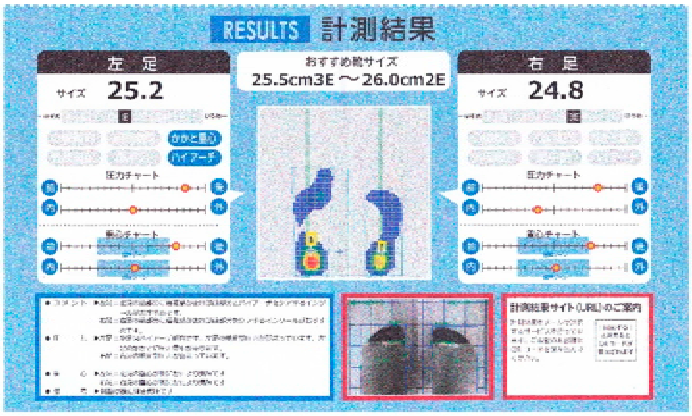
4　家こそものの上手なれ

「好きこそものの上手なれ」ということは、発達障がいのある方には多くあてはまるように思います。環境によってできることとできないことがある。だから家と、保育所や学校や施設と様子が違っていることもあります。だからこそ、それぞれの事業者との連携が必要になります。私たちはご家庭の代弁者であり事業者側の視点も持っていることが強みです。北摂杉の子会はライフステージに応じた様々な事業所を有しており、連携がとりやすいといえます。

5　おわりに

まだまだ先行きが見えないのが現実です。イチローの名言のように、小さなことを積み重ねることでいつの日か信じられないような信頼を得られるようになればと考えております。Hard Days Nightが徒労に終わらないように精進して参ります。これからも、皆様のご支援とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

訪問看護の外出支援。足型計測やってみました!
計測結果をもとに、店員さんに靴とインソールを選んでもらいました♪
歩き方や姿勢の改善が期待できるのでよかったです!



帰りにみつけたガチャガチャに興味津々
初ガチャガチャ♪
もちろん自分のお給料で♪

北摂杉の子会のホームページ　更新情報

（平成30年12月～平成31年2月）

北摂杉の子会のホームページ（http://www.suginokokai.com）では、
様々な法人の活動や情報提供をリアルタイムで掲載しております。
過去3ヶ月のホームページ更新状況をお知らせいたします。
ホームページでは、機関誌のバックナンバーもご覧いただけます。
ご興味のある方は『**北摂杉の子会**』で検索して、ぜひアクセスしてご覧ください！

掲載ページ	内　　容
各施設のご案内	すぎの子はったつ通信　12～2月号
	平成29年度 放課後等デイサービス自己評価結果の公開
お知らせ	障がい者雇用における『定着支援を考える』（主催:職リハ学会近畿ブロック）開催のご案内
	働くチカラPROJECT実践報告会 開催のご案内
	あんだんて主催セミナー開催のご案内
よどのコロッケ	よどのコロッケかわら版更新
	イベント販売&お知らせ
Café Be	ランチメニュー更新
	Café Be ミュージック･ディ情報更新

掲示板コーナー

（平成30年12月から平成31年2月まで）

法人本部総務部 掲示板

12月	行　　事
3日	ノートルダム女子大学内説明会
10·25日	経営会議
12日	京都女子大学内説明会
14日	運営会議
	権利擁護虐待防止委員会
18日	関西学院大学安田ゼミ内説明会
19日	大阪府立大学内説明会
21日	医療連携推進室会議
17日	新入職員研修
21日	強度行動障害支援スーパーバイザー養成研修

1月	行　　事
7日	関西福祉科学大学内説明会
7·21日	経営会議
9日	龍谷大学土田ゼミ内説明会
10日	関西大学内説明会
11·25日	運営会議
16日	龍谷大学山田ゼミ内説明会

1月	行　　事
18日	医療連携推進室会議
24日	新入職員研修
25日	強度行動障害支援スーパーバイザー養成研修

2月	行　　事
4日	京都府立大学内説明会
16日	第４回法人全体研修 「看取り視察研修（長野県かりがね福祉会様視察研修）報告」 「利用者の高齢・重度化に伴う必要とされる支援について」 独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園 事業企画部次長 古川 慎治 氏
8·22日	運営会議
8日	権利擁護虐待防止委員会
9·25日	経営会議
15日	医療連携推進室会議
22日	強度行動障害支援スーパーバイザー養成研修
27日	新入職員研修

（河辺　記）

新入職員研修

クリスマス忘年会

12月21日　グループごとに、クリスマス忘年会を行ないました。

初もうで

お正月には、近くの神社に初詣に行き、今年一年の健康を祈願しました。

巻き寿司パーティー

ふれっとなさはらで、色々な巻き寿司を選んで、食べてもらいました。

（竹内　記）

ジョブサイトひむろ掲示板

12月15日 インフルエンザ予防接種

みなさん緊張の時間でしたが無事に終わりましたね。

12月21日 クリスマス忘年会

ひむろ食堂で毎年恒例のクリスマス忘年会を開催しました！ 最後はダンス大会！

2月4日 節分豆まき大会

鬼の玉ちゃん目掛けてお菓子を投げました！ 最後は拾って食べましたよ。

2月11日 おやじバンド演奏会

今年もおやじバンドは大盛り上がり！ 笑顔がたくさん見られました！

（近藤　記）

大阪府発達障がい者支援センター アクトおおさか

12月	行　　事
3日	アクトおおさか公開講座 「ライフステージを通した支援体制づくりに向けて ～大阪府発達障がい児療育拠点整備10年をむかえて～」 第一部 「発達障がい児の早期療育および家族支援の重要性と今後への期待 ～大阪府発達障がい児療育拠点事業の予後調査の結果を踏まえて～」 講師　武庫川女子大学教授 新澤伸子 氏 第二部「実践報告」 報告者　発達障がい支援センターPAL 上田裕子 氏 こども発達支援センターSun 田中すみえ 氏 自閉症児支援センターWave 須川明子 氏
	大阪府ペアレント・メンター事業：大阪府強度行動障がい支援者養成研修（支援者対象）
4日	泉佐野市・田尻町自立支援協議会　平成30年度 第1回定例会　出席
5日	大阪府ペアレント・メンター事業：大阪府強度行動障がい支援者養成研修（支援者対象）
6日	発達障がい者の地域支援を考える会 ルーキーのための3回連続講座 第3回 地域支援マネージャー事業：高槻市訪問（事業活用の振り返り）
8日	アクトおおさかグループミーティング第5回目 開催（相談者対象） 「みんなのリラックス方法を知り、好不調の波を乗りこなしましょう!」
10日	地域支援マネージャー事業：羽曳野市訪問（事業活用の振り返り）
12日	地域支援マネージャー事業：能勢町訪問（事業活用の振り返りとワーク）
	東大阪支援学校研修会　講師（支援者、教員対象）
13日	発達障がい支援センターPAL 事業所交流会（実践報告会）　参加
14日	地域支援マネージャー事業：太子町訪問（実務者会議にオブザーバー参加）
15日	平成30年度 発達障害者支援センター全国連絡協議会 近畿ブロック研修会　参加
18日	大阪府ペアレント・メンター事業：和泉市訪問（打ち合わせ）
19日	大阪府ペアレント・メンター事業：発達障がい支援センターPAL訪問（打ち合わせ）
21日	大阪府ペアレント・メンター事業：豊中市訪問（打ち合わせ）
26日	地域支援マネージャー事業：東大阪市訪問（相談支援対象のグループワーク）
27日	地域支援マネージャー事業：阪南市・岬町訪問（打ち合わせ）

1月	行　　事
8日	平成30年度大阪盲ろう者通訳・介助者養成研修　講師
	平成30年度 第2回 大阪府発達障がい児者支援体制整備検討部会 成人ワーキング
10日	平成30年度 第2回 大阪府発達障がい児者支援体制整備検討部会 こどもワーキング
11日	大阪府ペアレント・メンター事業：松原市訪問（打ち合わせ）
	大阪府ペアレント・メンター事業：和泉市訪問（打ち合わせ）
17日	地域支援マネージャー事業：阪南市・岬町訪問（支援者対象研修）
21日	発達障がい児者サポートプロジェクト（泉州・南河内版）第3回意見交換会
	大阪府ペアレント・メンター事業：和泉市訪問（育児支援家庭訪問支援員対象）
23日	地域支援マネージャー事業：豊中市訪問（相談支援部会対象の研修）
	地域支援マネージャー事業：八尾市訪問（事例報告会の打ち合わせ）
24日	大阪府ペアレント・メンター事業：発達障がい支援センターPAL訪問（保護者対象）
25日	地域支援マネージャー事業：岸和田市訪問（支援者対象・初級編研修会）
26日	一般社団法人日本自閉症協会　自閉症スペクトラム講演会&シンポジウム 参加
30日	地域支援マネージャー事業：八尾市訪問（支援機関間での事例報告会）
31日	地域支援マネージャー事業：和泉市訪問（就労支援部会対象の研修）

2月	行　　事
4日	地域支援マネージャー事業：東大阪市訪問（事業活用の振り返り）
5日	平成30年度　第２回大阪府発達障がい者支援センター連絡協議会
6日	大阪府ペアレント・メンター事業：松原市訪問（教育関係者、民生委員等対象）
7日	地域支援マネージャー事業・大阪府ペアレント・メンター事業：和泉市訪問（保護者、支援者対象）
	大阪府ペアレント・メンター事業：茨木市あけぼの学園訪問（保護者、支援者対象）
8日	泉佐野市・田尻町自立支援協議会 平成30年度第２回定例会 出席
9日	発達障害をもつ大人の会DDAC主催 ピアリーダー研修会　講師
14日	平成30年度 泉佐野市・田尻町自立支援協議会　全体会　出席
15日	平成30年度　第３回大阪府発達障害団体ネットワーク会議　参加
19日	大阪府ペアレント・メンター事業：豊中市訪問（保護者対象）
20日	平成30年度　第２回大阪府ペアレント・メンター事業運営委員会
21日	大阪府ペアレント・メンター事業：池田市やまばと学園訪問（保護者対象）
	平成30年度 泉佐野市田尻町自立支援協議会研修会　講師（住民対象）
22日	平成30年度 大阪府通所支援事業者育成事業 第２回圏域連絡会（三島圏域・こども発達支援センターWill）実践報告会　参加
23日	平成30年度 大阪府ペアレント・サポート事業
	大阪府ペアレント・メンター　交流会／スキルアップ研修
26日	大阪障害者職業センター発達障害者雇用支援連絡協議会　出席
28日	地域支援マネージャー事業：岸和田市訪問（上級編研修）

（坂本　記）

アクトおおさか公開講座

グループミーティング

大阪府ペアレント・メンター 交流会／スキルアップ研修

児童発達支援部

an

グループで活動
自己紹介

グループで
クリスマスツリーの飾りつけ

飾り付けたツリー

クッキング
ホットケーキ作り

先生と活動
自分の好き嫌いをスタッフと考える

お母さんと一緒に
クリスマスツリーの飾りつけ

お母さんとホットケーキを食べる

クッキング
カップケーキ作り

3月で利用が終了される療育児様が
anのマークを作って
スタッフにプレゼントして下さりました

a z

クッキング

Link

文字や動画の手順を見ながら
シュシュ作り

PASSO

クリスマスカードづくり

就労準備プログラム JJ大阪で実習

身だしなみ講座 歯磨き

療育 コンビニで買い物

療育 荷物の準備

クリスマスケーキ作り

will

クッキング

リラックスタイム

自動販売機で買い物

大阪府委託事業圏域連絡会

大阪府委託事業ポスター発表

保護者研修 家庭での取組み

（西ヶ峯　記）

ジョブサイトよど/ジェイ・ブランチよど掲示板

ジョブサイトよど

～慰労会を開催しました～

～土曜日の余暇活動から～

「サンドイッチ調理」

「外食プログラム」

ジェイブランチよど

～慰労会を開催しました～

～店舗清掃チャレンジしました～

～土曜開所の余暇活動から～

「プラバンでキーホルダーを作りました」

「カフェBeへ～奥平さん（なつかしの職員）に会いました♡～」

（桶谷　記）

ぷれいすBe掲示板

クリスマス会

初詣

成田山　　神峯山寺

成人式

八つ橋体験

長岡天満宮

焼肉ランチ

野見神社

ちゃやまちプラザ

（下　記）

ジョブジョイント（JJ）おおさか -たかつきブランチ- 掲示板

12月	行　事
1日	AM：土曜クラブ PM：ジョイふるJJ（女子会）、就活のススメ（大学生向けサービス）
5日	内部研修（人権研修）
6日	障がい者雇用セミナー（企業向けサービス）
11日	事業所見学会（高槻）
22日	AM：土曜クラブ PM：ジョイふるJJ（忘年会）
25日	事業所見学会（十三）

1月	行　事
8日	事業所見学会（高槻）
20日	ジョブジョイントおおさか実践報告会
22日	事業所見学会（十三）
23日	内部研修（精神障がいのある方の就労支援）
30日	成人のお祝い

2月	行　事
2日	AM：土曜クラブ PM：家族ミーティング、ジョイふるJJ
4日	企業見学（株式会社ダイキンサンライズ摂津様）
12日	事業所見学会（高槻）
16日	就活のハジメ（大学生向けサービス）
23日	就活のハジメ（大学生向けサービス）
26日	事業所見学会（十三）
27日	大人の社会見学（工場見学 ニチレイフーズ様）

（山田　記）

企業見学
（株式会社ダイキンサンライズ摂津様）

働くイメージを具体的にしたり、企業が求める人物像を学ぶために就労移行支援事業の方を対象に2～3ヶ月に1回の頻度で企業見学に行かせていただいています。

企業実習
（Material LINK様）

いろいろな仕事の経験を積み、自分に合った仕事を確認していくために、企業実習に参加していただいています。Material LINK様ではビーズのピッキング・袋詰めなどをさせていただきました。

大人の社会見学（ニチレイフーズ様工場見学）

働くことや社会資源について楽しく学ぶことを目的に、自立訓練事業の方を対象に実施しているプログラムです。今回はニチレイフーズ様の工場見学に行きました。身近な商品の製造工程を見られたり、試食タイムもあり、皆さんとても楽しそうに参加されていました。

ジョイふるJJ 1泊旅行

ジョブジョイントおおさかを卒業されたＯＢ・ＯＧ向けのプログラムで、和歌山へ１泊旅行に行きました。観光や温泉など、皆さんとても楽しまれていました。

ジョブジョイントおおさか実践報告会

１月20日に「自閉症支援×就労支援」をテーマに実践報告会を開催いたしました。基調講演として自閉症ｅサービス代表の中山清司様にお話しいただき、実践報告では障がい者雇用をされている企業の方と当事業所の卒業生にお話しいただきました。

ご登壇者　（左から）中山清司様、株式会社ジオリゾーム 井上承子様・卒業生のＫさん、東京海上ビジネスサポート株式会社 亀井茂樹様・卒業生のＹさん、ジョブジョイントおおさか 伊藤

ララショコラのバレンタイン2019

今年も沢山のお客様が、バレンタイン期間中に、お店に足を運んでくださり、商品をお買い求めいただきました。誠にありがとうございました。

今年のバレンタインは、昨年よりもアイテム数が増え、より豪華なラインアップとなりました。

働くご利用者の皆さまも、たくさんの商品製造に関わり、より一層仕事に対するモチベーションが上がりました。

今後もイベントが目白押しです。皆さまのご来店をスタッフ一同お待ちしております!

高槻支援学校の学習発表会

高槻支援学校の学習発表会の日に、校内の販売ブースにて「ララショコラ」を出店させていただきました。お客様にお勧めの商品をお伝えしたり、注文いただいた商品を袋詰めしたりと、テキパキ手際よく接客のお仕事をしている姿を、在校生やそのご家族さまにも見ていただきました。

先生にも声をかけて頂き、とても良い販売の経験となりました。

（中野　記）

萩の杜家族会 掲示板

12月	行　　事
6日	萩の杜　総務担当 田口様　送別会
11日	イオン黄色いレシートキャンペーンに参加
17日	安全対策委員会
21日	家族会　会長会議

1月	行　　事
11日	イオン黄色レシートキャンペーンに参加
24日	サークル萩（手作り品の作成と情報交換会）
27日	カトリック高槻教会にて花販売

2月	行　　事
8日	臨時総会（現代劇場） • 萩の杜　家族会　会則改定 役員会で安全対策委員会を安全対策部会にすることに決定し、 会則第21条（部会）の（1）の③項に記載した 定例会 • 各部からの報告 • 施設から　ふれっとなさはらの活動報告
11日	イオン黄色レシートキャンペーンに参加
18日	給食試食会
	安全対策委員会
24日	カトリック高槻教会にて花販売
25日	家族会　会長会議

（池田　記）

萩の杜総務担当　田口様送別会（平成30年12月6日）

田口様、在職中は大変お世話になりありがとうございました

ジョブサイトひむろ家族会 掲示板

12月	行　　事
5日	北摂杉の子会後援会臨時役員会（高槻現代劇場会議室）　東会長出席
21日	家族会会長会（高槻現代劇場会議室）　東会長出席
	クリスマスプレゼント手配（事務局役員）

1月	行　　事
30日	第４回役員会（本部会議室）

2月	行　　事
6日	法人全体研修会（高槻現代劇場会議室）　東会長出席
20日	第３回定例会（現代劇場206号　会員38名出席　14名欠席） • 法人からの報告　植松副理事長より 1. ジョブサイトひむろの移転について 2. グループホームについて 3. 支援区分認定について 4. 医療ケアについて 5. グループホームスタッフ紹介制度について 6. 訪問看護事業について 7. 成年後見について • ジョブサイトひむろ活動報告　森田施設長より • 家族会報告　東会長より 1. 役員改選について 2. 会計報告
23日	父親会（がんこ高槻店）会員有志　16名 法人より松上理事長以下６名　参加者22名

（堀江　記）

ジョブサイトひむろ家族会　**父親会**　　2019年２月23日（土）　がんこ高槻店にて

ジョブサイトよど＆ジェイ・ブランチよど家族会 掲示板

12月	行　　事
5日	北摂杉の子会後援会　臨時役員会（高槻現代劇場　集会室401号室） 出席：玉木
15日	よどおやじの会（たんぽぽ十三店） 法人出席：松上理事長、田端施設長 ジョブサイトよど家族会（出席者：7名） ジェイ・ブランチよど家族会（出席者：3名）
21日	家族会会長会（高槻現代劇場　集会室203号室）　出席：玉木
22日	おやじ研修会（JEC日本研修センター十三） 「自閉症の障害特性と課題となる行動への対応の仕方について」 講師：中山清司 氏（北摂杉の子会スーパーバイザー）　法人出席：田端施設長 ジョブサイトよど家族会（出席者：6名） ジェイ・ブランチよど家族会（出席者：2名）

1月	行　　事
19日	ジョブサイトよど家族会、ジェイ・ブランチよど家族会 合同役員会（アーリーアーク306号室）
22日	家族会合同懇親食事会（がんご十三本店）　法人出席：佐々木理事 ジョブサイトよど家族会（出席者：6名） ジェイ・ブランチよど家族会（出席者：4名）

2月	行　　事
15日	医療ケアはじめの一歩　第4弾（高槻現代劇場　集会室305号室） 「障がいのある方のごきょうだいの想い」 ～家族で「地域で生きる」を支える～　出席：永井
16日	北摂杉の子会法人全体研修（高槻現代劇場　集会室305号室）　出席：永井
20日	北摂杉の子会後援会臨時役員会（高槻現代劇場　集会室401号室）　出席：玉木
23日	ジョブサイトよど家族会、ジェイ・ブランチよど家族会 合同役員会（ジョブサイトよど2階）

（永井　記）

ぷれいすBe家族会 掲示板

12月	行　　事
11日	ぷれいすBe創立10周年記念実行委員会（第一回） 参加者：施設職員３名+家族会会員５名
13日	役員会（ぷれいすBe会議室）　出席者：９名（施設長を含む） 審議報告事項 • レジデンスなさはら２丁目見学会の今期見送りについて • 創立10周年記念事業について • 法人への寄付手続きの確認と文書配布 • 次期役員アンケートの確定と配布 • 掲示板原稿の確認
21日	北摂杉の子会家族会　会長会議（出席者：厚東）
25日	法人本部への寄付金の払い込み（北川・岸・厚東）

1月	行　　事
10日	役員会（ぷれいすBe会議室）　出席者：９名（施設長を含む） • 法人への寄付の確認 • 次期役員アンケートの集計 → 役員候補の名簿作成については会長一任 • 来期の活動計画について • 「Beどうし」原稿の確認
17日	参観&ランチ（第４回）　担当役員：北川・横山　参加者８名 AR3のスタッフに男性がおられないので、介助等の際に不都合が生じないといいが…。クリーニングの機械に蒸気漏れ等を防ぐためなのかガムテープが貼ってあった。安全性については問題ないのか!?

2月	行　　事
14日	役員会（ぷれいすBe会議室）　参加者：９名（施設長を含む） 審議報告事項 • 第４回参観&ランチ報告 • 次期役員候補（アンケートの回答を尊重し現役員全員留任、但し会計監査は除く） • 定期総会までの手順等の確認 • 会員が自由に意見を表明できるように家族会用の目安箱を設置する • 「1月20日朝に起こった送迎マイクロバス事故」について、奥平ぷれいすBeリスクマネジメント委員会委員長も参加され、問題点等について意見交換した
18日	新規契約者面談（AR3の方１名）　参加者：厚東
19日	新規契約者面談（AR3の方２名）　参加者：厚東
20日	北摂杉の子会後援会（出席者：和田）

（厚東　記）

自閉症スペクトラム児･者を支援する親の会 オアシス 掲示板

12月	行　　事
1日	おやじの会　見学会　西陣ビール
2日	JDDnet年次大会 会長参加
3日	アクトおおさか公開講座 「ライフステージを通した支援体制づくりに向けて」 ～大阪府発達障がい児療育拠点　整備 10 年をむかえて～ 「発達障がい児の早期療育および家族支援の重要性と今後への期待」 ～大阪府発達障がい児療育拠点事業の予後調査の結果を踏まえて～　新澤伸子 氏 実践報告 発達障害支援センターPAL こども発達支援センターSun 自閉症児支援センターWave 場所：大阪市立阿倍野区民センター　参加
10日	オアシス役員会　ミスタードーナツ十三駅前店
11･15日	大阪保健医療大学作業療法学生の聞き取り調査協力
17日	オアシスサロン　喫茶店にて開催　参加：14名

1月	行　　事
9日	オアシス役員会　ミスタードーナツ十三駅前店
19日	JKA助成金学習相談事業　（主催）一般社団法人日本自閉症協会、（共催）大阪自閉スペクトラム症協会、（後援）オアシス 「自立に向けての支援、思春期から高校・大学生活にむけて」　望月直人 氏 「大学における発達障害学生への合理的配慮の現状」　原田　新 氏 座談会　場所：ドーンセンター大会議室　参加
22日	施設見学会 大阪市職業リハビリテーションセンター、サテライト・オフィス平野　見学：4名 オブザーバーとして大阪自閉スペクトラム症協会理事　同行

1月	行　　事
26日	一般社団法人日本自閉症協会 地域サポート事業in大阪 講演「これからの自閉症支援～医療・教育・福祉の連携～」　市川宏伸氏 シンポジウム　場所：グランキューブ大阪　参加

2月	行　　事
4日	公開講座　（主催）大阪自閉スペクトラム症協会、（共催）オアシス 講演「自閉スペクトラム症、発達障がい児者の問題行動の対応」　中山清司 氏 場所：大阪産業創造館会議室　参加：16名
5日	一般公開　新澤伸子先生を囲んでの座談会 「お困りごとについて」 場所：ドーンセンター小会議室　参加：11名
6日	ペアレント・メンター活動　松原市役所にて発達に課題のある子どもの子育てとして発表　オアシス保護者
14日	ホットメールなにわ会合 場所：港区民センター　副会長参加
15日	大阪府発達障がい団体ネットワーク会会合 場所：淀川区民センター会議室　会長・副会長参加
18日	オアシス役員会　ミスタードーナツ十三駅前店
23日	午前　つどい（サロン） 大阪自閉スペクトラム症協会と合同開催 場所：ドーンセンター調理室 オブザーバー：大阪市発達障がい者支援センター　井上芳子 所長 午後　大阪府ペアレント・サポート事業 大阪府ペアレント・メンター交流会 スキルアップ研修　講師：望月直人 氏 場所：ドーンセンター大会議室　参加

（福田　記）

寄付と後援会入会のお願い

社会福祉法人「北摂杉の子会」後援会の趣旨に賛同され、ご支援して下さる方々の寄付及び後援会への入会をお願い申し上げます。寄付金と後援会費は法人を支援するための資金とさせていただきます。
お振込みは右記口座まで。もしくは同封の振込用紙をご利用下さい。
皆様のご支援とご協力をよろしくお願い致します。
既に今年度、後援会会費をいただいた方には重ねてのご案内になりますことを、どうかご容赦ください。

記

1. 寄付金（注）
2. 個人会員　年間一口　2,000円
3. 団体会員　年間一口　10,000円

郵便振込口座　北摂杉の子会
00920-8-90859

（注）任意団体である後援会の領収書では確定申告の際に寄付金控除を受けることは出来ませんので、寄付金控除の出来る領収書をご希望の方は法人の下記口座にお振込み願います。

銀 行 名：三菱東京UFJ銀行 支店名 高槻支店　　口 座 名：社会福祉法人北摂杉の子会
口座番号：5085555

北摂杉の子会 後援会 掲示板

本会の活動に対して多くの方々や企業、団体、また萩の杜、ジョブサイトひむろ、ジョブサイトよど、ジェイ・ブランチよど、ぷれいすBeの家族会の皆様のご支援を頂き、まことにありがとうございます。今後ともより一層のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます

＜近況報告＞

12月　個人会員：398名、団体会員：25団体
　　合計：423名／団体　寄付：1件
1月　個人会員：399名、団体会員：25団体
　　合計：424名／団体　寄付：3件
2月　個人会員：404名、団体会員：25団体
　　合計：429名／団体　寄付：0件

（2019年2月末までの新規会員）
　個人会員：6名、団体会員：1団体

＜報告事項＞

1）今年度の2019年2月末までに、724,000円の寄付、818,000円の会費、合わせて1,542,000円の資金を頂きました。ご協力ありがとうございます

2）2019年2月20日（水）に臨時役員会を開催

- 2018年11月～2019年1月までの経過報告
  個人会員：391名、団体会員：25名、寄付：23件、資金：1,222,541円（会費納入率は個人：60％、団体：48％）
- 次回定例役員会の開催予定
  2019年5月28日（火）14：00～15：00
  場所：高槻現代劇場　集会室201号室

（佐々木　記）

～ 皆様の温かいご支援に感謝いたします ～

□法人へのご寄附に感謝いたします。（平成30年12月1日～平成31年2月28日）
なさはらもとまち1・2番館ご家族　植松芳哲　松尾正気　松岡洋市　坂井清孝　なさはら2丁目ご家族
北畑政和　森田豊子

□後援会入会と会費納入に感謝いたします。（平成30年7月13日～平成30年12月31日）
西井正美　西井真弓　高田弘美　高田英明　八田　隆　田川元康　本田英世　本田賀子　本田俊之　本田　聡
本田宏美　本田利秋　橋爪節子　太田えり子　澤田文子　山口重雄　広井良平　広井　泉　佐々木公一　村本順子
山口　博　山口秀子　沖田正治　野口健司　本田成美　赤尾浩子　白倉俊雄　仁戸田 照彦　結城越代　加茂明男
本庄真理　澤田隆夫　植松芳哲　増渕紘子　田口道代　匿名希望1人

□後援会へのご寄付に感謝いたします。（平成30年12月1日～平成31年2月28日）
津田敬子　行成章子　紀平亜紀　田口勝重

□家族会へのご寄付に感謝いたします。（平成30年12月1日～平成31年2月28日）
益田富士孝

（敬称略　順不同）

発行人　社会福祉法人 北摂杉の子会
　　理事長　松上 利男
発行所　北摂杉の子会
住　所　大阪府高槻市城北町1丁目6-8
発行日　2019年4月10日
定価100円

施設住所一覧

□ 社会福祉法人 北摂杉の子会 法人本部事務所
人材育成研修室
（法人独自の公益事業〈研修･講師派遣･コンサルテーション〉）
〒569-0071 高槻市城北町1丁目6-8 奥野ビル3F
TEL（072）662-8133　FAX（072）662-8155

□ 障がい者支援施設 萩の杜（施設入所支援･生活介護）
〒569-1054 高槻市大字萩谷14番地1
TEL（072）699-0099　FAX（072）699-0130

□ 萩の杜 日中活動支援センターふれっとなさはら
（生活介護）
〒569-1041 高槻市奈佐原2丁目4番25号

□ 萩の杜ショートステイセンター ぷれす
（短期入所･日中一時支援）
〒569-1054 高槻市大字萩谷14番地1
TEL（072）699-0844　FAX（072）699-0130

□ グループホーム とんだ（共同生活援助）
〒569-0814 高槻市富田町5-13-14 101号室

□ レジデンスなさはら（共同生活援助）
〒569-1041 高槻市奈佐原3丁目15番1号

□ レジデンスなさはら2丁目（共同生活援助）
〒569-1041 高槻市奈佐原2丁目1番8号

□ レジデンスなさはらもとまち（共同生活援助）
〒569-1041 高槻市奈佐原2丁目4番26号

□ ジョブサイトひむろ（生活介護）
〒569-1141 高槻市氷室町1丁目14-27
TEL（072）697-2234　FAX（072）697-2222

□ 高槻地域生活総合支援センター ぷれいすBe
（生活介護･就労継続支援Ｂ型･短期入所･日中一時支援）
〒569-1131 高槻市郡家本町5番2号
TEL（072）681-4700　FAX（072）681-4900
〈短期入所〉TEL（072）681-4720

■ 生活支援センター あんだんて
（指定特定相談支援･指定一般相談支援事業）
〒569-1131 高槻市郡家本町5番2号
TEL（072）681-4755　FAX（072）681-4900

■ 大阪府発達障がい者支援センター アクトおおさか
（発達障害者支援センター事業）
〒540-0026 大阪市中央区内本町1丁目2-13
谷四ばんらいビル10F
TEL（06）6966-1313　FAX（06）6966-1531

□ サポートセンターPASSO
（児童発達支援･放課後等デイサービス事業）
〒532-0023 大阪市淀川区十三東1丁目1番6号
TEL（06）4862-5454　FAX（06）4862-5466

□ 児童デイサービスセンター an
（児童発達支援･放課後等デイサービス事業）
〒532-0023 大阪市淀川区十三東2丁目4番2号
TEL（06）6838-8990　FAX（06）6838-7015

□ こども発達支援センター will
（児童発達支援･放課後等デイサービス事業）
〒569-0071 高槻市城北町1丁目6-8 奥野ビル2F
TEL（072）662-0100　FAX（072）662-0056

■ こども相談支援センター wish
（指定特定相談支援･指定障害児相談支援事業）
〒569-0071 高槻市城北町1丁目6-8 奥野ビル2F
TEL（072）605-1140　FAX（072）662-0056

□ 自閉症療育センター Link
（児童発達支援･放課後等デイサービス事業）
〒573-0032 枚方市岡東町24-10 アイエス枚方ビル3F
TEL（072）841-2411　FAX（072）841-2412

□ こども発達支援センター az
（児童発達支援･放課後等デイサービス事業）
〒558-0003 大阪市住吉区長居2丁目4-1 サンテ長居1F
TEL（06）6654-8777　FAX（06）6654-8780

□ ジョブサイトよど（生活介護）
〒532-0023 大阪市淀川区十三東2丁目4番2号
TEL（06）6838-7007　FAX（06）6838-7015

□ ジェイ･ブランチよど（就労継続支援Ｂ型）
〒532-0023 大阪市淀川区十三東2丁目3番10号
TEL（06）6303-9430　FAX（06）6195-3710

□ ジョブジョイントおおさか
（自立訓練〈生活訓練〉･就労移行支援）
〒532-0023 大阪市淀川区十三東1丁目1番6号
TEL（06）6100-0150　FAX（06）6309-3007

□ ジョブジョイントおおさか たかつきブランチ
（自立訓練〈生活訓練〉･就労移行支援）
〒569-0072 高槻市京口町9番3号 関西産業ビル1F･4F
TEL（072）668-1123　FAX（072）668-1165

□ すぎのこ訪問看護ステーション（訪問看護）
〒569-0071 高槻市城北町1丁目7-16 リーベン城北401
TEL（072）668-2670　FAX（072）668-2671

■ 発達支援あゆみ（豊中市児童発達支援事業所あゆみ）
（個別療育･障害児一時預り事業）
〒560-0054 豊中市桜の町3丁目12番10号
TEL（06）6398-7755　FAX（06）6841-9467

【法人自主製品店舗】

□ よどのコロッケ
〒532-0023 大阪市淀川区十三東2丁目10番10号
TEL（06）6306-4096
営業時間：10：30～17：00（土・日・祝定休）

□ 「LaLa-chocolat（ララ ショコラ）/TAKATSUKI」
就労継続支援Ｂ型
〒569-0071 高槻市城北町2丁目13番2号
TEL（072）668-5055　FAX（072）668-5081
営業時間：10：00～19：00（日・祝休み）

※■は行政よりの委託事業